

# 民報 あばしり

NO.1006  
2015・2・8  
発行所  
日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
電話 四三・四四五八  
F 四三・四四五七

## 松浦さとし 選挙事務所開き!

1月31日、暴風雪注意報が出される中、5期目をめざす松浦さとし市議会議員の事務所開きが、駒場南4丁目4番17号の後援会事務所で行われました。



あいさつする松浦さとし議員

弦巻富美恵選対本部長から開会の挨拶があり、続いて、先の衆議院選で小選挙区候補として戦った菅原誠党北見地区副委員長が、選挙のお礼と市議会議員選挙の意義と後援会員のみなさんへのご協力をお願いがありました。

候補者の松浦さとし議員は「安倍内閣のすすめる消費税8%、昨年の暮れに10%への引き上げは2年先に伸ばしたが、2年後には、どのようなことがあっても引き上げると言っている。集団的自衛権行使でもいっせいで地方選挙が終われば関連法案が提出される。原発も再稼働に向けて進み、沖縄の米軍基地の辺野古への移転の強行、TPPも米国に大幅に譲歩することが報じられてきているように、国民の5割から6割も反対している。これらの問題について、昨年総選挙で議席は減らしても3分の2以上の議席を得たことを「国民からまっすぐ前に進めと背中を押された」として、暴走政治に拍車をかけている。

### 住民の暮らし福祉、命を守る防波堤

この悪政に対して、住民の暮らし福祉、命を守る防波堤になるのが地方自治体の仕事なのに、水谷市政はそうはなっていない。市議会は何でも賛成の「オール与党」化している。その中で、日本共産党の2議席は、良いものは良い、悪いものは理由を明確に述べて反対してきている。この2議席をどうしても確保させていたきたい。後援会のみなさんのお力で、支持の輪を大きく広げていただいて、必ず議事に押し上げて下さい」と訴えました。

その後、事務局から行動提起があり、松浦地域後援会の杉山会長と小森副会長から挨拶がありました。最後に、参加者からの要望や意見が出され、和やかな中にも必ず勝利をしようと思いを固め合っていました。

## いよいよ東奔西走

アベノミクスと消費税増税による深刻な景気悪化による緊急経済対策として国の補正予算が自民・公明などの賛成多数で成立しました。3兆1816億円と大型補正ですが、経済の好循環の拡大といえながら、困窮している家計を温めるものにはなっていません。それどころか緊急経済対策とは何の関係もない2110億円の海外派兵型装備拡大をもぐりこませて軍事費は平成26年度とうとう5兆円を超えました。戦争する国づくりをめざし、テロには「目には目を歯には歯を」の武力一辺倒の政治姿勢は許されません。

## 菊地ひろし まっしぐら

昔からの両親のお友達にもお会いしました。また私の苦手なカラオケにも挑戦し、知り合いの女性の助けで数十年ぶりにやっと1曲歌うことが出来ました。さて、会場の中で、透析患者の方々の命にかかわる大変重要な問題を教えていただきました。「週に3日透析に通っているが、突然の雪で病院に行けなくなったらどうしようと思う」と友達の話していたとの事でした。議員団とも相談しながら患者の方が安心できるように体制を確立していかなければならないと思いました。

## 松浦さとし 奮戦メモ

吹雪が3日間も続き大変でした。しかし、我が家は風が見方をしてくれて、ほとんど積ることなく雪が飛んで行ってくれました。それにしても4週連続の暴風雪警報は過去に経験したことありません。これは、気象変動ではないかとつくづく思っています。市職員をはじめ関係機関のみなさんが、暴風雪に伴う「避難所」の開設など、対応にご苦労なされたことだと思えます。関係者のみなさんのご奮闘に心から敬意を表したいと思います。私は、2年前の猛吹雪で車に閉じ込められ一夜を過ごし、トイレ、寒さ、食料などの携帯を痛感するとともに暴風雪の怖さを身にしみて感じました。みなさんも暴風雪警報が出されたら無理な外出は控え、吹雪がおさまるのをじっと待ちましょう。

## 流水

昨年末に「あの人のために健康な食事を、自分も健康でありたいので足腰を鍛える。私のほうが先にサヨナラする。」と公言していたMさんが亡くなった。遺影は笑っていた。何だか涙が滲み、「思い通りになったんですね。そちらはどうですか?」とお経を聴きながら思い出を募った。Nさんの障がいについても気をかけてくれた。N母が入院することになって不安定な状態にいたのでまだ知らせていない。退院後の経過が良好で、近々伝えられそうだが1月末に車の免許切り替えの申請に出かけた。車を降りたとき、剣道か柔道か唸り声が聞こえたが受付に向かった。プロ野球の大谷選手に似たその青年は、何だかイライラしていて、早口でしゃべり、聞き返すと強い口調で「だから〇〇です!」と言いつつ放った。理解力が衰え、免許と手を切る時が近づいているんだなあと情けない気分になったが、80代のTさんを目指して記入をし、「これでよろしいですか?」と、力強く差し出した。エッ!という表情で受け取り、「ご苦労様でした。」と仮免許書を出してくれた。始めからこのムードで対応されたかったなあ。切り替えに訪れる人も3年、5年の空間があるから、年齢にもちゃんと寄り添って対応してほしい。読書のメンバーに3人目のベビー・生命の誕生!産湯、食事の準備など持ち寄り駆けつけた。素敵なひと時、母子ともに健やかであってほしいと思った。▼イチョー選手の入団会見「――応援していただけのような選手であるためにやらなくてはいけないことを続けていくことを約束して――」という言葉は、さわやかだった。この謙虚な一言に胸打たれた。今年目標にする。(て)